

別記様式第3号（その1）

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農業経営統計

この帳簿は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

平成 年

農 業 経 営 統 計 調 査

経 営 台 帳
(個別経営体用)



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

住 所	市 町 村 名		旧市町村名		集 落 名		経 営 者					
	都道府県番号	管理番号	調査客番	調査客番号	調査種別	作成対分	営農種別	複数生産費を把握する場合の調査客番号	第2生産費	第3生産費		
調 査 客 体 情 報	調 査 年 別 営 業 類 型 別 経 営 統 計											
	調 査 年	部 門 1		部 門 2		部 門 3		部 門 4		部 門 5		
	生 産 費 統 計					農 業 生 産 関 連 事 業			農 外 事 業			
	調 査 年 (産)	生 産 費					①		②		①	②
		第1生産費		第2生産費		第3生産費						
地方農政局等名					調 査 担 当 者							

農 林 水 産 省

目 次

経営台帳の記入に当たって	1		
調査タイプ別調査事項	2		
1 世帯員	4	10 調査客体概況	
2 土地	5	(1) 営農類型別統計関連項目	12
3 建物及び自動車・農機具	6	(2) - 1 農産物生産費統計関連共通項目	13
4 植物	7	(2) - 2 米生産費統計関連項目	13
5 牛馬	8	(2) - 3 麦類・大豆・畑作物生産費統計関連項目	14
6 中小動物	9	(3) - 1 畜産物生産費統計関連共通項目	15
7 現物在庫	9	(3) - 2 牛乳生産費統計関連項目	15
8 現金・預貯金等及び借金	10	(3) - 3 肉用牛生産費統計関連項目	15
9 自給牧草	11	(3) - 4 肥育豚生産費統計関連項目	16

経営台帳の記入に当たって

- 1 お宅で所有する固定資産などについて、各表中の白抜きの部分への記入をお願いします。
なお、記入いただいた事項に関連して、統計職員に伝えたい特記事項またはメモとして残しておきたい事項がございましたら、「備考」欄を利用してください。
- 2 各表中の網掛けをしてある項目は、昨年伺いました内容をもとに、統計職員があらかじめ記入してあるものです。この内容についてご確認いただき、変更などがございましたら、修正をしてください。
- 3 土地、建物などに関する項目として、各種「負担割合」がございましたが、これにつきましても、昨年伺いました割合を記入してありますが、お宅の営農状況に変化があり、本年の負担割合が大きく変化していると思われる場合には、統計職員に相談してください。
- 4 記入していただく項目の中には、各種「年月」に関するものがございますが、「年」につきましては、例えば「2012年」のように西暦で記入してください。

調査タイプ別調査事項

※取りまとめ事項については、調査タイプによって異なります。このため、願います調査タイプがどれにあたるのかを当方よりご説明いたしますので、該当する事項についてご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

	個 別 経 営				
	営農類型別経営統計			生産費単独調査客体	
	営農類型単独 調査客体	営農類型・生産費共用調査客体		牛乳・肉用牛	左記以外
牛乳・肉用牛		左記以外			
1 世帯員	○	○	○	○	○
2 土地					
(1) 総括表	○	○	○	○	○
(2) 異動表	○	○	○	○	○
3 建物及び自動車・農機具					
(1) 総括表	○	○	○	○	○
(2) 異動表	○	○	○	○	○
4 植物					
(1) 総括表	○	○	○	—	—
(2) 異動表	○	○	○	—	—
5 牛馬					
(1) 総括表	○	○	○	○	—
(2) 異動表	○	○	○	○	—
6 中小動物	○	○	○	—	—
7 現物在庫					
(1) 未処分農産物	○	○	○	—	—
(2) 農業生産資材	○	○	○	—	—
8 現金・預貯金等及び借入金					
(1) 現金・預貯金等及び売掛未収入金	○	○	○	—	—
(2) 借入金及び買掛未払金	○	○	○	○	○
9 自給牧草					
(1) 作付面積・生産量	—	○	—	○	—
(2) 牧草費用価減価償却費配賦表	—	○	—	○	—

注：表中の○印は、調査事項に該当するものです。

調査タイプ別調査事項（つづき）

	個 別 経 営												
	営 農 調 査 客 体 単 独	営 農 類 型 別 経 営 統 計						生 産 費 単 独 調 査 客 体					
		営農類型・生産費共用調査客體											
	米	小 大 畑 麦 豆 作 物	二 六 は 条 条 だ そ な 大 大 か ば た 麦 麦 ・ ね ・ ・ ・	牛 乳	肉 用 牛	肥 育 豚	米	小 大 畑 麦 豆 作 物	二 六 は 条 条 だ そ な 大 大 か ば た 麦 麦 ・ ね ・ ・ ・	牛 乳	肉 用 牛	肥 育 豚	
10 調査客體概況													
(1) 営農類型別統計関連項目													
ア 水陸稲、麦類、雑穀、いも類、工芸、飼料作物の作付面積等	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
イ 野菜、花きの作付面積	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
ウ 果樹（茶、桑を含む）の植栽面積等	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
エ 畜産物の販売状況等	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
オ 農作業受託及び生産調整田面積	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
カ 主要指標	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
(2) - 1 農産物生産費統計関連共通項目													
ア 主要指標及び作柄	-	△	△	△	-	-	-	○	△	-	-	-	
イ 調査作物の受委託状況別面積	-	○	○	△	-	-	○	○	△	-	-	-	
ウ 農業就業者等	-	-	-	-	-	-	○	○	△	-	-	-	
エ 調査作物の品種別作付面積	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	
(2) - 2 米生産費統計関連項目													
ア 田の概況	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
イ ほ場枚数及び面積	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
ウ 生産調整実施状況	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
エ 水稲裏作作付面積	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
オ 包装した玄米数量	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
(2) - 3 麦類・大豆・畑作物生産費統計関連項目													
ア 生産調整実施状況	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
イ 調査作物の生産状況	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
ウ 取引量（さとうきび、てんさい）	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
(3) - 1 畜産物生産費統計関連共通項目													
ア 主要指標	-	-	-	-	△	△	△	-	-	-	○	○	
イ 農業就業者等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
(3) - 2 牛乳生産費統計関連項目													
ア 主産物の生産量	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	
イ 搾乳牛の概要	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	
ウ 搾乳牛負担率	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	
(3) - 3 子牛生産費統計関連項目													
子牛換算係数	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	
(3) - 4 肥育豚生産費統計関連項目													
ア 繁殖用豚の品種別頭数	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	
イ 年間飼養状況	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	
ウ 子豚等の飼養状況	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	
エ 飼養頭数及び販売頭数	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	

注：表中の○印は、調査事項に該当するものです。△印は、表中の一部が調査事項に該当するものです。

1 世帯員

この表には、お宅の生計を共にされているご家族について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認頂き、変更がありましたら該当箇所を修正するとともに「在宅状況」及び「在宅月数」欄に本年の状況を記入してください。

用語の説明

- <経営主>
男女、同居別居を問わず、農業経営の責任を負っている人
- <農業関係者>
経営主夫婦及び農業従事日数が概ね60日以上のご家族
- <家計費推計者>
上記の農業関係者とその扶養家族

氏名 <small>（生計を共にしている人を記入。また、住込みの雇用人も含む。）</small>	経営主との続柄 <small>（続柄コードを参照して記入）</small>	性別	生年月日 <small>（西暦）</small>	農業関係区分 <small>（関係者に○）</small>	家計費推計者区分 <small>（農業関係者の扶養家族に○）</small>	在宅状況	在宅月数	就業区分	備考
						<small>（年始め、年末時点の在宅者に○）</small>	<small>（15日在宅月数を記入）</small>		
			年 月			年 月	年 月		

続柄コード

		男	女
常住家族	経営主	11	51
	経営主の配偶者	13	53
	その他常住家族	21~29	61~69
同居人		31~35	71~75
他出家族	経営主	41	81
	経営主の配偶者	43	83
	その他出家族	45~49	85~89

就業区分コード

自営農業	1
農業生産関連事業	2
自営兼業	3
臨時的賃労働	4
恒常的勤務	5
出稼ぎ	6
非就業者	7

- 記入注意：1 「経営主との続柄」欄は、具体的に記入（例えば父、娘）するか、右の「続柄コード」を参照して該当する番号を記入してください。なお、住み込みの雇用人は「同居人」と記入してください。
- 2 「就業区分」欄は、具体的に記入（例えば会社勤務）するか、右の「就業区分コード」を参照して該当する番号を記入してください。

2 土地

(1)の総括表には、お宅で所有する土地について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表に異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類 (1つに○)	地目 (地目コードを参照して記入)				ほ場名・地番	土地台帳面積 又は総面積	営農類型別統計(個別経営)のみ記入					生産費統計のみ記入			備考	
							課税評価額	負担割合				家計	該当生産費品目の			
								農業計	関与者		関与者以外		土地台帳面積 又は 総面積	作付実面積 又は 使用面積		地代に 対する 負担割合
自作地	年間借地	期間借地	貸付地			a	千円	%	%	%	%	a	a	%		

記入注意：1 「土地台帳面積又は総面積」欄は、作付地にあつては土地台帳面積を、作付地以外の地にあつては総面積（建物だけでなく、敷地面積も含める。）を記入してください。
 2 「課税評価額」欄は、借地を除く土地について、市町村の固定資産税台帳より転記してください。
 3 生産費のみ記入の「地代に対する負担割合」欄は、当該土地から産出した粗利益合計に対する生産費品目の粗収益の割合を記入してください。

(2) 異動表

異動事由 (異動事由コードを参照して記入)	異動年月 年 月		種類 (1つに○)				地目 (地目コードを参照して記入)	異動後の地目 (地目コードを参照して記入)	異動面積 (土地台帳面積又は総面積)	備考				
											自作地	年間借地	期間借地	貸付地
								a						

記入注意：1 「地目」「異動後の地目」欄は、具体的に記入（例えば田、住宅）するか、右の「地目コード」を参照して該当する番号を記入してください。
 2 「異動面積」欄は、土地にあつては「土地台帳面積」、土地以外にあつては「総面積」（建物だけでない総敷地面積）を記入してください。

異動事由コード

購入	01	売却	06
開墾・開田	02	災害	07
土地改良	03	復旧	08
資産分割による増価	04	資産分割による減価	09
耕心土売却	05		

地目コード

田(牧草栽培地以外)	11	牧草地	31	放牧地(畑)	53
田(牧草栽培地)	18	住宅	41	放牧地(その他)	54
普通畑	21	畜舎	42	運動場(畑)	55
果樹園	22	鶏舎	43	運動場(その他)	56
茶園	23	屋外飼育場	44	山林	61
菜園	24	その他建物敷地	49	土地権利	64
その他の園地	29	採草地	52	その他の土地	65

3 建物及び自動車・農機具

(1)の総括表には、お宅で所有する建物及び自動車・農機具について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表に異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類 (具体的に記入)	構造 (型式)	新古区分		取得年月		取得価額 千円	年(調査)始め延べ面積 (台数) m(台)	営農類型別統計のみ記入										生産費統計のみ記入				
		新	古	年	月			農業、農外、家計の負担割合 (原則、取得年(新規客体は開始年)に配賦)					部門別の負担割合 (使用割合により配賦)					該当生産費 調査期間 負担割合		飼料作物 の対象畜 負担割合		
								農 業					部 門 別					当 該 生産費	飼 料 作 物			
		関 与 者		農 業				農 外		関 与 者		部 門 別			部 門 別							
		農業生産関連事業	農外事業	関与者以外	家計			部門1	部門2	部門3	部門4	部門5	部門1	部門2	部門3	部門4	部門5					
①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②							
								%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

記入注意：1 「新古区分」欄は、購入時に新品のものは「新」、中古のものは「古」に○を記入してください。
 2 「年(調査)始め延べ面積(台数)」欄は、建物にあっては延べ面積を、自動車・農機具にあっては台数を記入してください。
 なお、共有している場合は、調査客体の持分を記入してください。

(2) 異動表

異動事由 (異動事由コードを参照して記入)	異動年月		種類	構造 (型式)	延べ面積 (台数) m(台)	備考
	年	月				

記入注意：1 「異動事由」欄は、右の異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 2 「種類」欄は、建物、自動車・農機具の名称を具体的に記入してください。
 3 「構造(型式)」欄は、「建物・構築物」にあっては木造、鉄骨などの構造を、「自動車・農機具」にあっては30馬力(トラクターの例)、5条植(田植機の例)などの型式を具体的に記入してください。

異動事由コード (建物)	
新築等	01
中古購入	02
取り壊し	03
部分取り壊し	04
資産分割による増価	07
売却	08
災害	09
復旧	10
資産分割による減価	11

異動事由コード (自動車・農機具)	
新品購入	01
中古購入	02
資産分割による増価	04
売却	05
災害等	06
資産分割による減価	07

4 植物（生産費統計単独調査客体を除き使用）

(1)の総括表には、お宅で栽培する果樹、桑、茶などの植物について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、新植、抜根などの変更がありましたら(2)の異動表にその異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種類	品 種	植 栽 年 月		取 得 価 額 又 成 園 価 額	年 始 め 植 栽 面 積
		年	月		
				千円	

〔備 考〕

記入注意：「取得価額又は成園価額」欄は、成園について、取得価額が分かる場合には取得価額を、取得価額が不明な場合は成園価額を記入してください。

(2) 異動表

異動事由	異 動 年 月		種 類	品 種	植 栽 年 月		異 動 面 積
	年	月			年	月	

異動事由コード

購入	01	売却	06
新植	02	災害	07
高接更新	03	抜根整理	08
漸進更新	04	資産分割による減価	09
資産分割による増価	05		

- 記入注意： 1 「異動事由」欄は、右の異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 2 「種類」欄は、りんご、みかんなどの品目名を具体的に記入してください。
 3 「品種」欄は、種類欄で記入した品目の品種名（ふじ、温州みかんなど）を具体的に記入してください。

5 牛馬

(1)の総括表には、お宅で飼養する牛馬について、調査始め時点の状況が記入されています。記入事項をご確認いただき、購入、売却などの変更がありましたら修正するとともに、(2)の異動表にその異動状況を記入してください。

(1) 総括表

種 類 (いずれかに○)	品 種	販売目的 区 分 (肉用牛のみ いずれかに○)		性 別	生産 年月		成畜に 達した 年月		取得 年月		取得 価額 (購入した牛馬の 購入価額を記入) 千円	年 (調査) 始頭数	牛乳生産費のみ記入		子牛生産費のみ記入		肥育牛・育成牛生産費のみ記入			備 考						
		肉 用 牛	繁 殖 牛 馬		肥 育 用	肉 用	年	月	年	月			年	月	産 次 回 数	入 牧 年 月 年 月	下 牧 年 月 年 月	母 畜 の 識 別 番 号	前 分 年		回 ん 月	前 子 牛 販 売 年	回 り 月	導 入 時		
																								年	月	年

(2) 異動表

異 動 事 由	異 動 年 月		種 類 (いずれかに○)		品 種	性 別	生 産 年 月		成 畜 に 達 し た 年 月		頭 数	肉用牛のみ		肥育・育成牛のみ		備 考				
	年	月	肉 用 牛	繁 殖 牛 馬			年	月	年	月		年	月	売却時 生 体 重	kg		売却又は購入時 生 体 重	kg		
																			kg	kg

肉用牛生産費客体を除き使用

異動事由コード	
購入	01
生産	02
成畜	03
資産分割による増価	04
売却	05
死亡等	08
資産分割による減価	09

肉用牛生産費客体に使用

異動事由コード	
購入	01
生産	02
成畜	03
資産分割による増価	04
売却	05
仮売却	06
事故売却	07
死亡等	08
資産分割による減価	09

記入注意: 1 牛個体識別情報より記入が可能な場合は、牛個体識別情報を基に記入してください。
 2 牛個体識別情報より記入が困難な場合は、お手元の牛馬台帳より記入してください。
 3 「異動事由」欄は、異動事由コードを参照して該当する番号を記入してください。
 4 「成畜に達した年月」欄は、繁殖牛のうち搾乳牛にあっては「初回分べん年月」を、搾乳牛以外の雌にあっては「初回種付け年月」を記入してください。なお、雄については記入する必要はありません。

6 中小動物（生産費統計単独調査客体を除き使用）

この表には、お家で飼養する豚、鶏などの中小動物について、年始め時点の状況が記入されています。年末の飼養状況について記入してください。

種類 〔種類コードを参照して記入〕	品種 〔繁殖用豚、種付け用豚のみ品種コードを参照して記入〕	性別 〔いずれか1つに〇〕		生産年月		取得年月		頭羽数		備考
		雄	雌	年	月	年	月	年始め	年末	

肥育用豚	01
繁殖用豚	02
種付け用豚	03
採卵用鶏	04
ブロイラー用鶏	05
肥育用その他	98
その他	99

ランドレース	01
ヨークシャー	02
パークシャー	03
デュロック	04
雑種(LW以外)	05
LW	06
その他	99

記入注意：1 「種類」欄は、右の種類コードを参照して該当する番号を記入してください。
2 「品種」欄は、「種類」が「繁殖用豚」または「種付け用豚」の場合、右の品種コードを参照して該当する番号を記入してください。これ以外については記入しなくても構いません。

7 現物在庫（生産費統計単独調査客体を除き使用）

この表には、未処分農産物及び農業生産資材について、お宅の年始め時点の在庫状況が記入されています。年末の在庫状況について記入してください。

(1) 未処分農産物

品目	数量		備考
	年始め	年末	

記入注意：「品目」欄は、未処分農産物の名称を具体的に記入してください。
例えば、「玄米」「大豆」「じゃがいも」などです。

(2) 農業生産資材

品名	該当部門	数量		備考
		年始め	年末	

記入注意：1 「品名」欄は、在庫資材名を具体的に記入してください。
例えば、「肥料」「農薬」などです。
2 「該当部門」欄は、該当資材の用途を具体的に記入してください。
例えば、稲作用の肥料であれば「稲作」と記入してください。

8 現金・預貯金等及び借入金

この表には、農業経営に関与しているご家族が保有している資産（手持ち現金、貯金など）について、年始め時点の現在高が記入されています。年末時点の保有状況について記入してください。

(1) 現金・預貯金及び売掛未収入金（営農類型別統計用）

区分	名称	農業負担割合		農業負担割合		備考
		年始め現在高		年末現在高		
現預貯金等 <small>（個別経理等）</small>		千円		千円		
売掛未収入金			%		%	

- 記入注意：1 現金・預貯金等は、農業経営に関与している世帯員が保有しているもの（手持ち現金、貯蓄、積立金、貸付金、有価証券）について、年始め・年末時点の現在高を記入してください。なお、「名称」欄は、普通預金、定期預金、生命保険などを記入してください。
- 2 積立金の生命保険・共済などは、掛け捨てのものは含めず、実際の掛け金の累計額を記入してください。
- 3 売掛未収入金は、農業経営に関与している世帯員の経営によって発生した未収入金を種類別に記入してください。

この表には、農業経営に関与しているご家族の借入金（長期、短期別）などについて、年始め時点の現在高が記入されています。年末時点の借入状況について記入してください。

(2) 借入金及び買掛未払金（営農類型別統計及び生産費統計用）

区分	名称	年（調査）初現在高	負担割合						該当生産費	年（調査）末現在高	負担割合						該当生産費	備考		
			経営	農業	部門						経営	農業	部門							
					部門1	部門2	部門3	部門4					部門5	部門1	部門2	部門3			部門4	部門5
借入金		千円	%	%	%	%	%	%	千円	%	%	%	%	%	%	%	%			
買掛未払金																				

- 記入注意：1 借入金は、農業経営に関与している世帯員が借り入れているものについて、短期（返済期間が1年以内）・長期（返済期間が1年以上）別に分かるように「名称」欄に記入してください。
- 2 買掛未払金は、営農類型別統計を作成する調査客体において、農業経営に関与している世帯員の経営によって発生した未払金を種類別に記入してください。

9 自給牧草（牛乳及び肉用牛生産費統計を作成する調査客体のみ使用）

家畜の飼料としてお宅で作付けする牧草について、その種類、作付面積、生産量などを記入してください。

(1) 作付面積・生産量

種類	作付面積	牧草生産量（生の状態での重量）		収穫回数	備 考
		乾牧草仕向け	サイレージ仕向け		
	ha	kg	kg	回	

- 記入注意：1 「種類」欄は、イタリアンライグラス、青刈りデントコーンなどの牧草名を具体的に記入してください。
 2 「作付面積」欄は、実作付面積を記入してください。なお、野乾草については刈取実面積、採草地及び放牧場にあつては該当面積としてください。
 3 「収穫回数」欄は、少量ずつ毎日あるいは数日ごとに採取する牧草もあると思いますが、全面的に複数回刈り取る場合を除いて1回と記入してください。

(2) 牧草費用価減価償却配賦表

資産等	種類	構造・型		備 考
		計	生牧草	

- 記入注意：1 「資産等」「種類」「構造・型式」欄は、「3 建物及び自動車・農機具」表から該当する資産について転記してください。
 2 「牧草名」欄は、(1)表の「種類」欄より転記してください。
 3 「計」欄は、牧草種類ごとに当該資産の使用面積及び使用日数に基づき負担割合を記入してください。
 4 「生牧草」「乾牧草」「サイレージ」欄は、牧草種類ごとに給与形態（生牧草、乾牧草、サイレージ）別の負担割合を記入してください。

10 調査客体概況

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(1) 営農類型別統計関連項目

ア 水陸稲、麦類、雑穀、豆類、いも類、 工芸農作物及び飼料作物の作付面積等

作物名	作付面積		生産量 kg
	田	畑	

イ 野菜及び花きの作付面積

作物名	作付面積	
	露地	施設
		m

ウ 果樹（茶、桑を含む）の植栽面積等

作物名	植栽面積		生産量 kg
	成園	未成園	

エ 畜産物の販売状況等

畜産物の種類		頭羽数等
養鶏	採卵鶏月平均飼養羽数	羽
	鶏卵生産量	kg
	ブロイラー販売羽数	羽
養豚	年始め繁殖雌豚頭数	頭
	肥育豚月平均飼養頭数	〃
	子豚販売頭数	〃
	肉豚販売頭数	〃
酪農	生乳生産量	kg
養蚕	掃立卵量	箱

オ 農作業受託及び生産調整田面積

農作業受託の種類等		
対象作物	作業名	面積

記入注意：

- 1 「対象作物」欄は、水稲、小麦、大豆の作業を請負った作業名を記入してください。
- 2 「作業名」欄は、請け負った作業名（田植、刈り取り）等の具体的に記入してください。全作業の場合には「全作業」と記入してください。なお、小麦、大豆については記入不要です。
- 3 「面積」欄は、請負い実面積を記入してください。

備考

カ 主要指標

農業経営に関与している世帯員のうち、農業者年金基金に加入している人は何人いますか。（人数を記入）						人
農業経営に関与している世帯員のうち、認定農業者制度の認定を受けている人はいますか。（該当に○）	い	る	い	な	い	
青色申告を行っていますか。（該当を○で囲む）	し	て	い	ら	な	
家族協定を策定していますか。 （該当するものを全て○で囲む）	方	針	収	益	経	営
	決	定	分	配	委	譲
	就	業	・	他	該	当
	な	し			な	し

カ 主要指標（つづき）

農業関係者の全員の労働日数について、「農業への従事日数」の合計と「農業以外への従事日数」の合計のどちらが多いですか。（該当を○で囲む）	農業への 従事日数	農業以外への 従事日数
---	--------------	----------------

「農業関係者」、「農業以外への従事日数」とは

- 農業関係者
経営主夫婦及び農業従事日数が概ね60日以上家族
- 農業以外への従事日数
農外事業、勤め先への勤務など農業以外への従事日数の合計

10 調査客体概況（つづき）

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(2) - 1 農産物生産費統計関連共通項目

ア 主要指標及び作柄

認定農業者制度の認定を受けている人はいますか。（該当を○で囲む）	い	る	い	ない	
お宅では農業所得と農外所得のどちらが多いですか。（該当を○で囲む）	農業所得		農外所得		
生産組織へ参加していますか。（該当するものを○で囲む）	調査作物	栽培協定	共同利用	受託	その他
	その他作物	栽培協定	共同利用	受託	その他
10a当たり平年収量（単収を記入する）					
主な被害の種類（該当する主なものを○で囲む）	気象被害	病害	虫害	その他	

10a当たり平年収量とは

過去5か年の10a当たり収量のうち最高、最低を除く3か年の平均収量を記入してください。

イ 調査作物の受委託状況別面積

（米、麦類、大豆、なたね、そば生産費調査客体のみ使用）

受相委託の手	委託（請け負わせ）		受託（請け負い）	
	作業名 （具体的に記入）	面積	作業名 （具体的に記入）	面積
個人		a		a
団体				

※注意：

- 委託（受託）について、個別に対により委託（受託）したものは「個人」欄に、農協・農団（農作業受託組織など）、農協、公共団体などに委託（受託）したものは「団体」欄に記入してください。
- 苗・種・調製など数量単位で精算される場合は、その見積もり面積を記入してください。
- 耕うん・整地、防除など同一ほ場を数回にわたって委託（または受託）した場合は、その実面積を記入してください。
- 全作業を受託する場合、「作業名」欄に全作業と記入してください。

ウ 農業就業者等

	男	女
農業就業者	人	人
農業専従者		
農業年層		

農業就業者、農業専従者とは

「農業就業者」：年間の農業従事日数が60日以上の者
「農業専従者」：年間の農業従事日数が50日以上の者

記入注意：
この表は、営農類型別統計と共用している調査客体については作成しないでください。

エ 調査作物の品種別作付面積

作付けた調査作物の品種名	作付面積
	a

(2) - 2 米生産費統計関連項目

ア 田の概況

田の団地数	団地
区画整理済面積割合	%

イ ほ場枚数及び面積

区画規模	ほ場枚数
a	枚

ウ 生産調整実施状況

転作作物等 （作物名を記入）	実施面積
	a
調整水田等	

エ 水稻裏作作付面積

裏作作物等 （作物名を記入）	作付面積
	a
裏作休耕	

オ 包装した玄米数量

麻袋、紙袋等で梱包した玄米数量を記入
kg

記入注意：

- 区画規模別のほ場枚数を記入してください。
- 区画規模は「30a」など具体的に記入してください。

10 調査客体概況（つづき）

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にいただき本年の状況を記入してください。

(2) - 3 麦類・大豆・畑作物生産費統計

ア 生産調整実施状況

実施面積	
自作地	a
借入地	

記入注意：調査作物の作付実面積のうち生産調整に係る面積を、自作地借入地別に記入してください。

イ 調査作物の生産状況

① さとうきびの収穫面積等

		株出し	春植え	夏植え
収穫面積	a			
主産物数量	kg			

② さとうきびの未収穫面積

		自作地	借入地
未収穫面積	a		

③ 原料用かんしょ、ばれいしょの作付面積等

		でん粉原料用	生食加工用	その他 (糖配用含む)
収穫面積	a			
主産物	数量	kg		
	価額	円		

④ てんさいの収穫面積等

		直播	移植
収穫面積	a		
主産物	数量	kg	
	価額	円	

ウ 取引量（さとうきび、てんさい）

数量	
出荷量	
糖度換算出荷量	

糖度換算出荷量

工場からの取引伝票を基に記入してください。

10 調査客体概況（つづき）

当頁の表には、お宅の昨年の生産状況などが記入してありますので、参考にしていただき本年の状況を記入してください。

(3)－1 牛乳生産費・肉用牛生産費・肥育豚生産費統計関連共通項目

ア 主要指標

認定農業者制度の認定を受けている人はいですか。（該当を○で囲む）	い	る	い	ない
お宅では農業所得と農外所得のどちらが多いですか。（該当を○で囲む）	農	業	農	外
	所	得	所	得

イ 農業就業者等

	男	女
農業就業者	人	人
農業専従者		
農業年雇		

農業就業者、農業専従者とは

「農業就業者」：年間の農業従事日数が60日以上の者
 「農業専従者」：年間の農業従事日数が150日以上の者

(3)－2 牛乳生産費統計関連項目

ア 主産物の生産量

	生産量
乳脂肪生産量	kg
無脂乳固形分生産量	

記入注意：年間生産量を記入してください。

イ 搾乳牛の概要

	関係頭数	頭	相当した期間	日
乳房炎期間		頭		日
分べん期間		頭		月
乾乳期間		頭		日

記入注意：それぞれに関係した搾乳牛の延べ頭数と、該当する搾乳牛1頭当たりの平均期間を記入してください。

ウ 搾乳牛負担率

	搾乳牛	生後11日未満の牛	育成牛		
			生後11日～6か月	6～18か月	18か月以上
飼料等	1.0				
建物	1.0				
飼育作業	1.0				

記入注意：飼料等（給与量）、建物（使用面積）、飼育作業（時間）について、搾乳牛（成牛）に要する分を「1.0」とした場合の割合を乳用牛の月齢区分別に記入してください。

(3)－3 子牛生産費統計関連項目

子牛換算係数

	月 齢 区 分				
	1・2か月齢	3・4か月齢	5・6か月齢	7・8か月齢	9・10か月齢
割合					

記入注意：繁殖牛（成牛）を飼育するのに要する費用を「1.0」とした場合、子牛を飼育するのに要する費用の割合を子牛の月齢区分別に記入してください。

〔備考〕

10 調査客体概況（つづき）

当頁の表には、本年の豚の飼養状況を記入してください。

(3) - 4 肥育豚生産費統計関連項目
ア 繁殖用豚の品種別頭数

	繁殖雌豚	種雄豚
ランドレース	頭	頭
ヨークシャー		
パークシャー		
デュロック		
雑種		
L W		
その他		

イ 年間飼養状況

		頭数等
延べ飼養頭数	後継繁殖雌豚	頭
	後継種雄豚	
子豚	子豚販売頭数	
	死亡・とう汰頭数	
	子豚購入頭数	
分べん状況	分べんした繁殖雌豚	
	子豚の分べん頭数	

記入注意：「延べ飼養頭数」欄は、毎月1日現在に飼養する豚の12か月分の合計を記入してください。

ウ 子豚等の飼養状況

	月数
子豚平均販売月齢	月
死亡・とう汰豚平均飼養月齢	
子豚購入時平均月齢	
繁殖雌豚平均分べん間隔	

記入注意：

- 「子豚平均販売月齢」欄は、子豚として販売する場合、その販売時の平均月齢を記入してください。
- 「死亡・とう汰豚平均飼養月齢」欄は、病気及び事故などにより死亡・とう汰が発生した時点の平均月齢を記入してください。
- 「子豚購入時平均月齢」欄は、子豚を購入する場合、その購入時の平均月齢を記入してください。
- 「繁殖雌豚平均分べん間隔」欄は、繁殖雌豚の前の分べんから次の分べんまでの平均間隔を月数で記入してください。

エ 飼養頭数及び販売状況

	月始め飼養頭数			肥育豚の販売状況		
	肉豚頭数 (肥育豚+子豚)	繁殖雌豚	種雄豚	頭数	月	生体重
4月	頭	頭	頭			kg
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月						

記入注意：

- 「月始め飼養頭数」の各欄は、該当月の1日現在に飼養している全ての豚について記入してください。
- 「肥育豚の販売状況」の各欄は、該当月に販売した豚の頭数、平均月齢、1頭当たり平均生体重を記入してください。

[備考]
